



働き方に革命を…！

～屋久島でワーケーション強化月間～

チーム名：トビウオ男児

福留惇志 徳重海成

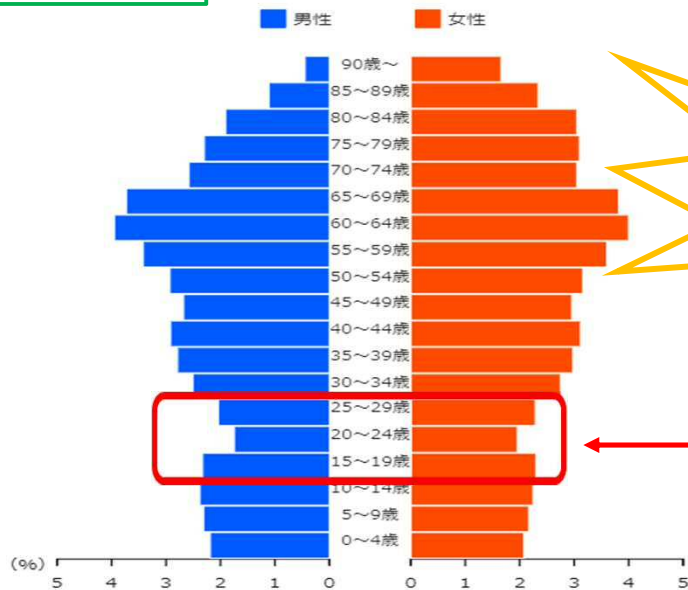
屋久島町の現状①

鹿児島県と比較してみると生産年齢人口初期の段階である
15歳～29歳の人口が特に少ない

15歳～29歳の人口の割合 → 鹿児島県：12.64%
→ 屋久島町：7.91%

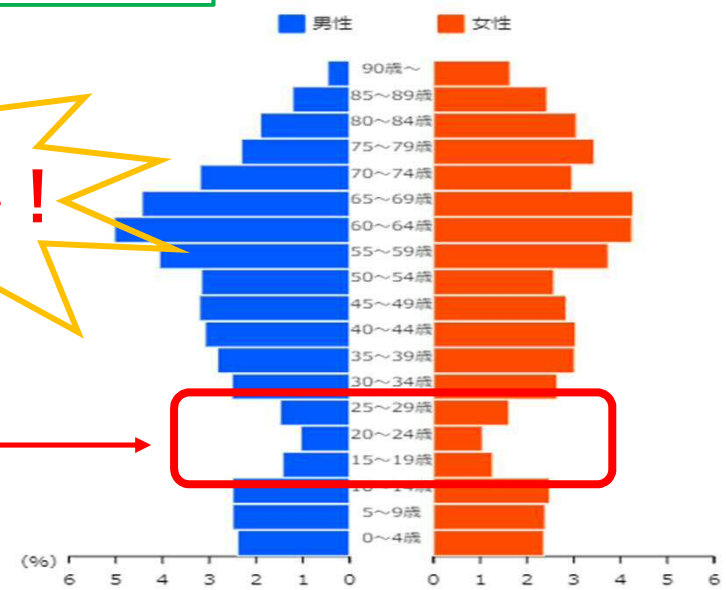
鹿児島県

2015年



屋久島町

2015年

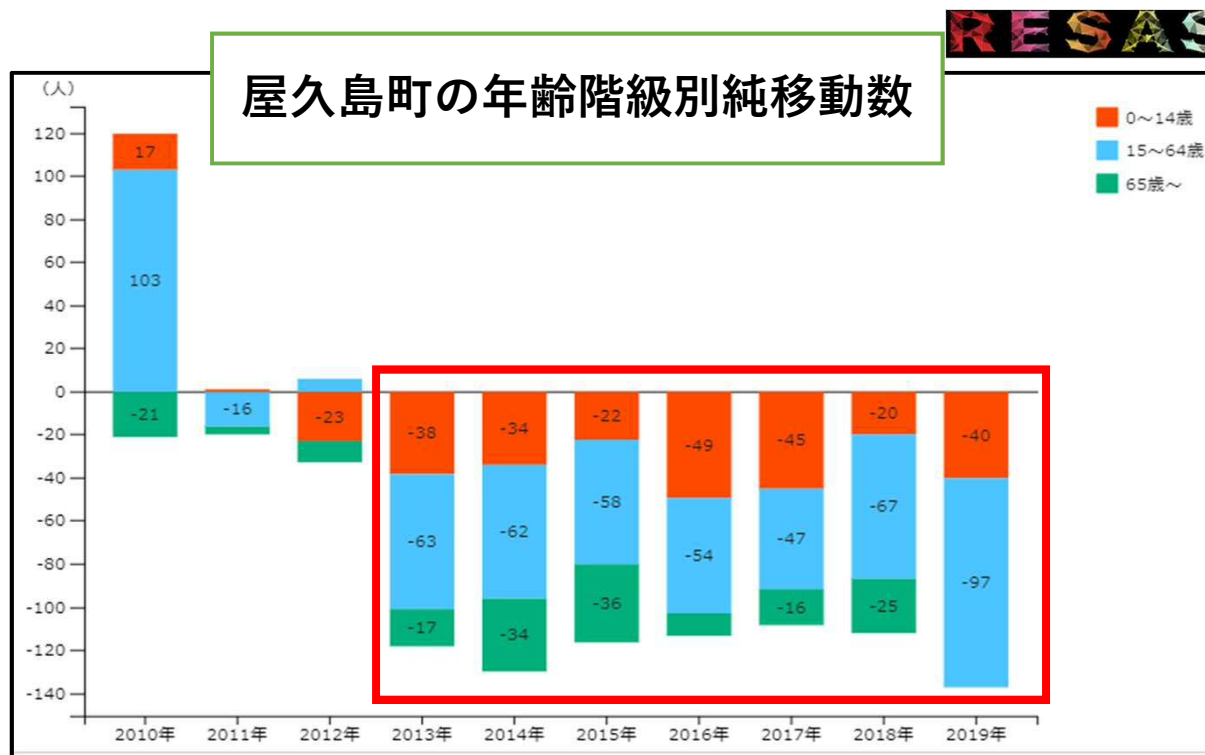


差が大きい！

RESAS

屋久島の現状②

社会動態は2013年以降**大幅に転出超過**となっている
→ 進学や就職で島外に出ていく島民が多いため
転出超過が続いていると考えられる



鹿児島県熊毛支庁の方
によると・・・

島民の人が島外へ
出ていくことは仕方がない

島外からの来島者
を増やす必要がある

提案する政策内容

● さあ始めよう
ワーケーション強化月間！！



屋久島のスローライフや自然豊かな環境を活かし、
コロナ禍に対応したワーケーションを行うことで
島で働く人口を増やす！

※ワーケーションとは

→ ワーク（仕事）とバケーション（休暇）を掛け合わせた造語
国内外のリゾート地や帰省先でパソコンを使った仕事をする事

この政策を実施する上での強み

- 現在コロナが流行っている。

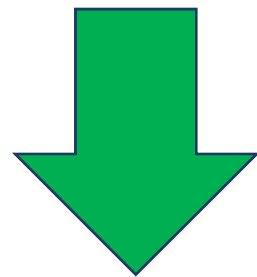
そこで、離島を利用しつつ、今ある現状に対応した仕事のスタイルがワーケーションであるので、効果的に政策を進めることができる。

つまり、
政策としてもかなり実現可能性
が高いと考えられる。

屋久島町のネット環境の現状

Q. 屋久島町は離島だが通信状態は良いのか？

- 屋久島町では2020年度5月から**光回線を使った高速通信サービス**が導入されている。
- 現在は4つの交換局エリアが対象だが、2021年度には残る3つの地域の架線工事も行われる予定である。



鹿児島県熊毛支庁の方によると
・・・（R2.8月時点で）多くの人が
光通信を利用している。

**A. 情報の通信速度が改善され
安定したネット環境を利用できるようになった！**

政策の実施方法

• STEP.1

➡若手の社員を対象に短期間のワーケーションを実施する。

• STEP.2

➡実際に島で働いてもらうことで、ワーケーションの良さを知ってもらう。（インセンティブの契約をすることを条件とする）

• STEP.3

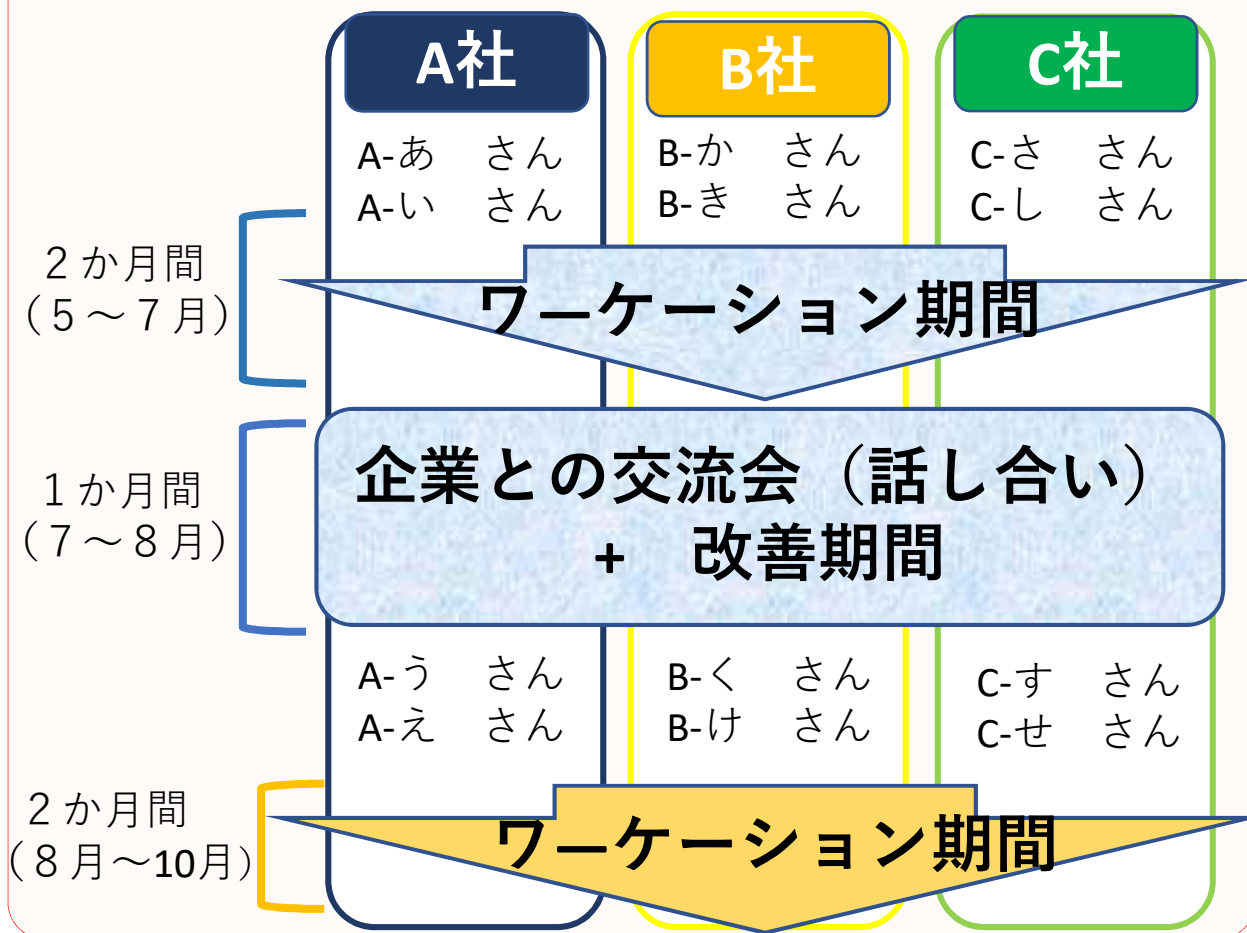
➡屋久島でワーケーションを行った率直な意見をほかの企業と言い合える話し合いの場を作る。（改善点などを見つける場に）

• STEP.4

➡出た反省をもとに地元の企業や宿泊施設と協力をし、次の実施までに改善策を打つ。

ワーケーションを途切れさせないために

～ ワーケーション（2か月間）案 ～



1：各企業から社員を複数人募り実施

2：ワーケーションと交流会を1セットで行い次回は異なる社員で実施

3：年間通して繰り返す



継続的に
多くの人が
取り組める

まとめ・将来展望

- 現状としては、離島の若い人材が島外に流出してしまう事は抑えられないため、逆に島外の若い人材が島に来てもらうという視点から考えていく必要性がある。
- コロナがある現状に合ったワーケーションを行うという事を、離島地域における新しい働き方のスタイルとして導入していくべきである
- ワーケーションを行うことによって、離島地域の魅力や良さを存分に活用することが出来るため、将来的な若い労働人口定着を期待できる。